

2018 貸出・予約 ベスト10

貸出

2018年に最も貸し出された本・予約された本の上位10点(同率含む)をまとめました。
さらに増えた東野作品が目を見ますが、小説以外のジャンルからランクインした2点からは教育・知性に関する昨今の社会的関心の高さが見て取れます。同じテーマに他の視点から切り込んだ著作も多々ラインナップしております。是非ぜひお運びの程を。

	回数	タイトル	著者	出版	刊年
1	555	九十歳。何がめでたい	佐藤愛子	小学館	2016.8
2	518	コンビニ人間	村田沙耶香	文藝春秋	2016.7
3	487	人魚の眠る家	東野圭吾	幻冬舎	2015.11
4	475	希望荘	宮部みゆき	小学館	2016.6
4	475	素敵な日本人	東野圭吾	光文社	2017.4
5	457	この世の春 上	宮部みゆき	新潮社	2017.8
5	457	羊と鋼の森	宮下奈都	文藝春秋	2015.9
6	456	危険なビーナス	東野圭吾	講談社	2016.8
6	456	この世の春 下	宮部みゆき	新潮社	2017.8
7	454	マスカレード・ナイト	東野圭吾	集英社	2017.9
7	454	ラプラスの魔女	東野圭吾	KADOKAWA	2015.5
8	444	恋のゴンドラ	東野圭吾	実業之日本	2016.11
9	433	おらおらでひとりいぐも	若竹千佐子	河出書房	2017.11
10	426	コーヒーが冷めないうちに	川口俊和	サンマーク	2015.12
10	426	蜜蜂と遠雷	恩田陸	幻冬舎	2016.9

予約

	回数	タイトル	著者	出版	刊年
1	738	かがみの孤城	辻村深月	ポプラ社	2017.5
2	615	未来	湊かなえ	双葉社	2018.5
3	588	魔力の胎動	東野圭吾	KADOKAWA	2018.3
4	539	沈黙のパレード	東野圭吾	文藝春秋	2018.1
5	474	ファーストラヴ	島本理生	文藝春秋	2018.5
6	432	下町ロケット3 ゴースト	池井戸潤	小学館	2018.7
7	400	コーヒーが冷めないうちに	川口俊和	サンマーク	2015.12
8	387	1日1ページ、読むだけで身につく世界の教養365	デイヴィッド S.キダー	文響社	2018.5
9	385	AI vs.教科書が読めない子どもたち	新井紀子	東洋経済	2018.2
10	376	ののほな通信	三浦しをん	KADOKAWA	2018.5

第16回

眠れる森の美本

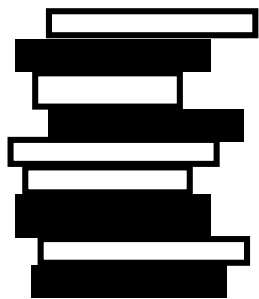
『洋館意匠』
長谷川堯／著(鳳山社 1976)

著者が一人の建築ファンとして、数多くの建築を写真に収めた一種の作品集です。銀行建築に見られる柱頭装飾などは、さまざまな意匠と材質などによって全国に広がっていったことが分かります。時代の変化とともに変わっていく建築物がモノクロ写真とともに鮮やかによみがえります。



2019年2月-2019年3月号

- 特集1 図書館が登場する本
- 特集2 2018貸出・予約ベスト10
- 連載 眠れる森の美本
- お知らせ 西東京市図書館からのお知らせ FM西東京で紹介した本



図書館 が登場する本



『海に見える街』

(畑野智美／講談社／2012.12)

この街でなら、明日が変わる。1年あれば、奇跡も起きる。海が見える市立図書館で働く20、30代の4人の男女を描いた連作中編集。



『おさがしの本は』

(門井慶喜／光文社／2009.7)

膨大な書物の海の中から、お目当てを探し出すのは大変。だから、図書館にはレファレンス・カウンターがあります。生まじめでカタブツの図書館員がお手伝いする、極上の探書ミステリー。



『図書館ねこデューイー町を幸せにしたトラねこの物語ー』

(ヴィッキー・マイロン著／羽田詩津子訳／早川書房／2008.10)

ある冬の朝、アメリカの小さな町の図書館で返却箱から救出された瀕死の子猫は、町の人々を癒し、やがて世界で知られる「図書館ねこ」となった。一生をともに過ごした図書館司書が、その様子を愛情をこめて綴る。



『ふしぎな図書館』

(村上春樹／講談社／2005.1)

図書館はいつもよりずっと、しんとしていた。図書館の地下の閲覧室、そこには「羊男」がいた。僕は「図書館」から脱出できるのだろうか？



『図書館戦争』

(有川浩／メディアワークス／2006.3)

公序良俗を乱し人権を侵害する表現を取り締まる法律として「メディア良化法」が成立・施行された現代。超法規的検閲に対抗するため、立てよ図書館！ 狩られる本を、明日を守れ！ 正義の味方、図書館を駆ける！



『れんげ野原のまんなかで』

(森谷明子／東京創元社／2005.2)

新米司書の文子が配属されたのはのどかな秋葉図書館。そんな図書館に、職員目を盗んで閉館後の図書館に居残ろうとする少年たちが次々現われた。いったい何を狙っているのか？ 図書館勤務経験のある作者の図書館愛にあふれる物語。



『世界の美しい図書館』

(パイインターナショナル／2014.12)

最古のフレスコ画がきらめく修道院図書館、「ハリー・ポッター」シリーズに登場した図書館、天井から吊るされた書架がそびえる近未来型図書館…。紀元前の遺跡から最新鋭の名建築まで、世界の図書館100館を写真で紹介する。

図書館からのお知らせ

東日本大震災関連展示

場所：西東京市図書館全6館

期間：平成31年3月1日から22日

期間中、展示のほかに、西東京市図書館開館記念として行った東日本大震災関連講演記録集『東日本大震災とわたしたち～記憶すること、記録すること～』を配布いたします。

※数に限りがあるため、なくなり次第終了となります。

F M西東京で紹介した本

『死に山ー世界ー不気味な遭難事故

《ディアトロフ峠事件》の真相ー』

1959年冬、ウラル山脈で9人の若者が命を落とした遭難事件の謎にアメリカ人ドキュメンタリー作家が挑みます。遺族や当時の記録をあたり、現場にも足を伸ばした調査行が、遭難と捜索の一部始終と並行して語られます。政府の陰謀やUFOまで諸説を検討した末、著者は一つの驚くべき結論を見出しますが…後は実際に一読下さい。一行が遭難直前まで撮っていた楽しい写真が胸に迫る一冊です。

『トロッケンゲシュテック

ー木の実とスパイスの飾り花ー』

トロッケンゲシュテックとは、ドイツに古くから伝わる木の実とスパイスを使った飾り花のことです。松ぼっくりや流木などを中心に、ドライの植物を用いてリースやオーナメントにすることができます。木の実とスパイスは数え切れないほどあるので、自分なりのアレンジを無限に考えることができます。香りや効用もさまざまなので、プレゼントにも最適です。生花にはない深い味わいと、香り高い飾り花を楽しんでみませんか。

発行：西東京市図書館

<http://www.library.city.nishitokyo.lg.jp>